

WANアプライアンスに代わり、視覚的に トラフィックをシェーピング

【導入の背景】

Air Methods社のネットワークは、5か所の主要オフィスと236か所のリモートベースをVPN経由のネットワークで接続しています。飛行機と基地間の通信には、RoIP (radio-over-IP) も使用しています。従来のWAN最適化アプライアンスを使ってトラフィックシェーピングを行っていましたが、ネットワークの拡大に対応しきれなかったため、QoSの導入を契機にLiveActionを導入していただく運びとなりました。

【課題】

- ①使用していたWAN最適化アプライアンスのキャパシティを超える帯域幅の捻出
- ②RoIP (radio-over-IP) をサポート

【ソリューション】

LiveActionにより、視覚的にQoSを管理し、CLIを使わずにトラフィックをシェーピングする

【導入製品】

- ◆LiveAction

企業プロフィール

Air Methods

Air Methods社 (NASDAQ : AIRM) は、航空医療非常輸送サービスとシステムの米国最大のプロバイダーです。空中での医療輸送を専門とし、患者の治療品質と飛行操作の安全性を重視してきました。集中的な治療を必要とした98,000人以上の患者を、事故現場や総合病院から高度な技術をもつ外傷治療センターや第3次医療機関へ輸送しています。

本社:米国コロラド州エングルウッド
URL: www.airmethods.com

【お客様の成果】

- Air Methods社がMPLSネットワークのトラフィックシェーピングに使用していたハードウェアアプライアンスを増設する必要がなくなり、LiveActionのおかげでQoSによるシェーピングが容易にできるようになった。
- Air Methods社のような、成長と拡大を続けている企業ネットワークに合わせて、頻繁なネットワーク構成の変更が可能な、柔軟性の高い管理を実現した。
- 実際のインターフェース間のトラフィックがどのように制御 (シェーピング) されるのか、またQoSポリシーに設定した変更を目で見て確認できる。

【お客様のコメント】

「 LiveActionはCiscoネットワークの管理という仕事を非常に簡単にしてくれます。コマンドラインを使ったQoSの設定は厄介で間違いやすく、間違っても気づきにくいのが欠点です。LiveActionはポリシーの作成と実装のプロセスを簡単にするだけでなく、エラーも防ぎます。 」

ザビエル・カパロ
シニアネットワークエンジニア
Air Methods